

令和3年7月6日

宮城県知事

村井 嘉浩 殿

新型コロナウイルスワクチン
の供給に係る緊急要望

宮城県市長会 会長 大崎市長 伊藤 康志

宮城県町村会 会長 松島町長 櫻井 公一

新型コロナウイルスワクチンの供給に係る緊急要望

本県における新型コロナウイルス感染症対策については、知事をはじめ県当局のこれまでの取り組みに衷心より感謝申し上げる。

さて、我々市町村は、地域住民が1日でも早く不安の無い日常生活を取り戻せるよう、ワクチン接種については、基礎自治体として住民に寄り添いながら、計画的に接種を実施しているところである。

しかしながら、今般、ワクチン供給の不足が現実化し、現場では今後のワクチン接種のスケジュールに不安の声が上がっている。

よって、県はワクチン接種が円滑に進むよう調整を行うとともに、以下の点について、国に対して積極的に働きかけられたい。

記

1. ワクチンの安定的な供給に努め、市町村のワクチン接種スケジュールに混乱が生じないようにすること。特に新型コロナウイルスワクチンの接種は、2回接種が原則であることから、1回目のみならず、2回目の接種も見据えた数量のワクチンを確実に確保し、市町村の接種スケジュールに合わせて供給すること。
2. ワクチン接種については、これまで予防接種法に基づき市町村が中心となって接種する体制を構築してきたところである。今後は対象年齢の拡大等により、更なる接種体制の強化も検討される。よって、職域接種等の他の接種方法と競合することの無いよう、原則に基づき、市町村優先で確実にワクチンを供給するよう配慮すること。
3. 基礎自治体である市町村にとって、住民との信頼関係が最も重要である。よって、供給の遅れ等により、ワクチン接種の中止や予約の取消等が生じ、住民が不安に陥ることのないよう万全を期すること。